
© S.Ent. 2022

株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会および期末配当については 毎年3月31日 中間配当および株主優待については 毎年9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故・その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
（公告掲載アドレス）	http://www.takano-net.co.jp/ir/index.html

【株式に関するお手続きについて】

●特別口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●特別口座から一般口座への振替請求 ●単元未満株式の買取請求 ●氏名・住所等の変更 ●特別口座の残高照会 ●配当金の受領方法の指定（※）	特別口座の口座管理機関 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料） ［手続き書類のご請求方法］ ○電話によるご請求 0120-232-711（通話料無料） ○インターネットによるダウンロード https://www.tr.mufg.jp/daikou/
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料）

（※）特別口座に記録された株式をご所有の株主さまは配当金の受領方法として株式数比例配分方式はお選びいただけません。

●証券会社等の口座に記録された株式

お手続き、ご照会等の内容	お問い合わせ先
●郵送物等の発送と返戻に関するご照会 ●支払期間経過後の配当金に関するご照会 ●株式事務に関する一般的なお問い合わせ	株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 TEL 0120-232-711（通話料無料）
●上記以外のお手続き、ご照会等	口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。

NAGANO trend 42

宮田村の文化財　「中越遺跡」

長野県宮田村（本社所在地）の歴史は古く、縄文時代にまで遡ります。約6500年前、海面上昇により海辺に住んでいた人々が新たな居住地を求め、天竜川右岸に定住しました。これが「中越遺跡」と呼ばれる、宮田村に誕生した集落です。中越遺跡ではこれまで400軒以上の住居跡が確認されています。人々はこの地で、石による矢尻やナイフ、また土器を作り独自の文化を発展させました。彼らが残した「中越式土器」は、当時の東海地方で作られていた土器と大変よく似ているため、東海地方から天竜川を遡り、未開の地である中部高地で生活を始めたと考えられています。人々は故郷に思いをはせながらも、新しい地で仲間とともに大規模な集落を営みました。
全国的にも希有であるこの集落遺跡は、文化の発展を知る上で重要な遺跡であると同時に、多くの地域住民の誇りとされています。

※中越遺跡の特徴は、縄文前期初めの本州でも最大規模の集落であること、海辺、東海地方の色の濃い文化を持っていたことにあります。


「写真提供：宮田村教育委員会」

PROJECT-With the Earth
この冊子の印刷・製本に係るCO₂は PROJECT- With the Earth を通じてオフセット（相殺）しています。
UD FONT
FSC ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC® C013080
VEGETABLE OIL INK

Takano タカノ株式会社

証券コード：7885

タカノ通信 Vol.53



© Snowman Enterprises Limited 2022
THE SNOWMAN™ Snowman Enterprises Limited

第69期 年次報告書

2021年4月1日から2022年3月31日まで


© S.Ent. 2022

株主のみなさまへ

株主のみなさまには、平素から格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。
当社の第69期業績ならびに次期の見通しについて、次のとおりご報告させていただきます。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、国内の新型コロナウイルス感染状況が拡大と収束を繰り返す中で経済状況は徐々に正常化に向かう動きがあったものの、海上物流の問題や地政学リスクの顕在化にともなうサプライチェーンの混乱の加速、さらには急激な為替相場の変動などが加わり、先行きは不透明な状況が続いております。
このような環境のもと、当社グループは2021年５月に公表いたしました中期経営計画「ONE TAKANO」に従い、グループ一丸となって計画の基本方針である「構造改革とプロセス改革により、高付加価値事業へシフトし、新たな成長路線を構築する」の実現を図るべく、取り組みを進めてまいりました。
この結果、主に産業機器事業および住生活関連機器事業の販売の増加により、当連結会計年度の売上高は22,748百万円で、前連結会計年度比2,698百万円、13.5％の増収となりました。
利益面につきましては、販売増加にともなう粗利益増加に加えて合理化推進を継続的に実施した結果、営業利益1,143百万円（前連結会計年度は営業損失97百万円）、経常利益1,237百万円（前連結会計年度比1,090百万円、738.7％の増益）となりました。また、エクステリア事業の固定資産に係る減損損失を特別損失に計上したこと等により、親会社株主に帰属する当期純利益は894百万円（前連結会計年度は親会社株主に帰属する当期純損失11百万円）となりました。



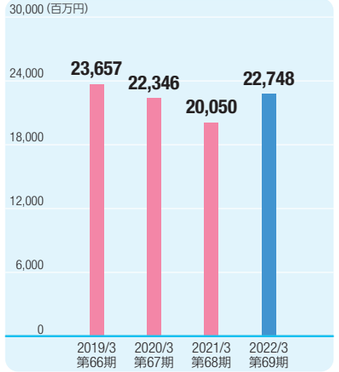
代表取締役社長
鷹野 卓


© S.Ent. 2022

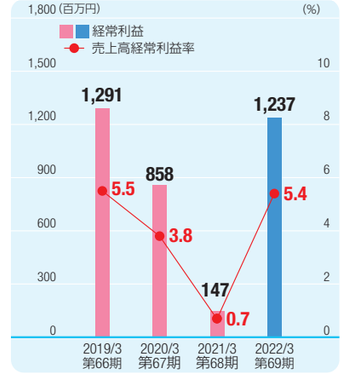
次期業績の見通しについて

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種の浸透や、新しい生活様式、働き方の定着等により、経済活動の安定化が期待されるところでありますが、原材料価格の高騰や部材調達の難航、不安定な為替相場など景気の先行きについては不透明な状況が継続しております。
次期の連結業績につきましては、売上高23,500百万円（前連結会計年度比3.3％増）、営業利益1,100百万円（前連結会計年度比3.8％減）、経常利益1,150百万円（前連結会計年度比7.1％減）、親会社株主に帰属する当期純利益850百万円（前連結会計年度比5.0％減）を見込んでおります。また、次期の年間配当金は1株につき18円を予定しております。

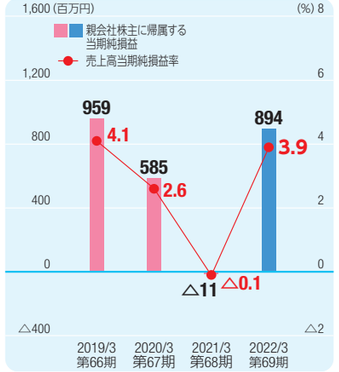
売上高



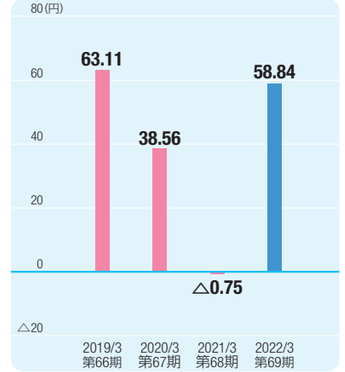
経常利益／売上高経常利益率



親会社株主に帰属する当期純損益／売上高当期純損益率



1株当たり当期純損益



次期業績の見通し

	連結	単体
売上高	23,500百万円 （前期比3.3％増）	20,500百万円 （前期比1.0％増）
経常利益	1,150百万円	1,000百万円
当期純利益	850百万円	750百万円

※1. 上記表の連結「当期純利益」は親会社株主に帰属する当期純利益を表示しております。
2.「収益認識に関する会計基準」等を2022年3月期の期首から適用しており、2022年3月期の金額については、当該会計基準等を適用した後の金額となっております。

昨今の世界的な半導体不足を受け、半導体関連の設備投資が活況を呈しておりますが、これはタカノの製品も深く関わっている分野です。これからも半導体をはじめとする電子部品分野で、開発・投資を進めてまいります。

マスク製造工程

01 回路・パターン設計
半導体チップ上にどのような回路を配置するのか設計し、パターンを検討する。

02 フォトマスク作成
ガラス板の表面に、設計した回路パターンを描く。ウェーハに回路を転写するための原版（マスタ）となる。

ウエーハ製造工程

01 シリコンインゴット切断
シリコンインゴットをワイヤーソーで薄くスライスし、ウェーハをつくる。

02 ウエーハの研磨
シリコンウェーハ表面の凸凹を研磨剤と研磨パッドによって鏡のように磨く。

前工程

01 ウエーハ表面の酸化
高温の酸素でウエーハの表面に酸化膜（絶縁膜）を生成。

02 薄膜形成
ウェーハの表面に様々な材料の薄膜をつけるプロセス。

03 フォトレジスト塗布
フォトレジストといわれる感光剤をウェーハ表面に均一に塗る。

04 露光・現像
ウェーハ表面にフォトマスク、縮小レンズを通して光を照射し、回路パターンを焼き付ける。その後不要なフォトレジスト部分を除去する。

05 エッチング
フォトレジストで形成されたパターンに沿って酸化膜・薄膜を削り取る。



比例ソレノイドバルブ（PSVシリーズ）
酸素などのガスの供給量を指令信号に合わせ制御するコントロールバルブです。



ウエーハ表面検査装置（WMシリーズ）
「前工程」随所で、ウエーハの表面検査に使用されます。

06 レジスト剥離・洗浄
残っているフォトレジストを剥離する。
ウェーハ上に残っている不純物を取り除く。

07 イオン注入
不純物イオンを注入し、熱処理を行い、半導体の電気的特性を変化させる。

08 平坦化
ウェーハ表面を研磨し、凸凹を平坦化する。
フォトレジスト塗布から平坦化の工程を繰り返す。

09 電極形成
電極配線用の金属をウェーハに埋め込む。
チップ内部と外部を電気的に接続するための通り道。

10 ウエーハ検査
ウエーハに形成された数百個のチップのひとつひとつに対して、プローブと呼ばれる針を接触させて電気的に問題ないかを検査する。



ウエーハ外観検査装置（Viシリーズ）
ウエーハの配線パターンやクラック、異物混入などの製品外観を高速、高精度に検査します。



バンプ高さ測定装置（ALTAX）
ウェーハやBGA、CSPなどのパッケージ基板上に形成されたバンプの高さ、径などを高速かつ高精度に測定します。

後工程

01 ダイシング
ウェーハをダイヤモンドブレードで切断し、ひとつひとつのチップに分離させる。

02 ワイヤーボンディング
リードフレームと呼ばれる金属の枠にチップを固定し、金線で接続する。これにより、チップとの配線が可能になる。

03 モールディング
チップを傷や衝撃から保護するため、樹脂でパッケージする。

04 最終検査
温度や電圧の試験、電気的特性試験、外観構造検査など、異常がないか何重もの試験を行い、不良品を取り除く。

SEMIジャパン 業界研究サイトより、許可を得て引用
SEMI FREAKS https://www.semijapanwfd.org/

エクステリア部門

ARサービス開始



タカノではこの度、「無料ARサービス」を開始しました。
AR（Augmented Reality：拡張現実）とは、現実の映像とデジタルの映像を合成してディスプレイ上に表示する技術です。現実の映像に、スマートフォンやタブレット端末を使い、タカノのオーニング、パラソルなどのデジタルデータを重ねることで、実際に設置した場合の風景を確認することができます。さらに製品の拡大・縮小、また角度の調節が可能であるため、よりリアルな設置風景をイメージすることが可能です。
もともとARはパソコンで活用されている技術でしたが、近年はデバイスの大幅な進化に伴い、スマートフォンやタブレット端末にもAR技術が搭載できるようになったことで、一般的な認知度が向上しました。また現状の、密を避けるための遠隔コミュニケーションの手段として、ARを含めた仮想現実を構築する技術を活用した、リモートワークやバーチャルイベントなどの需要が高まっています。
タカノにおきましても、デジタル技術の急速な発展に伴う市場動向をいち早く読み取り、お客さまにより満足していただけるようサービス向上に尽力してまいります。

実際に体験ができるWebページ　https://www.takano-net.co.jp/exterior/metaverse/

ヘルスケア部門

「キッズフェスタ 2022」出展

本年4月16～17日の2日間、東京流通センターで開催された「キッズフェスタ 2022」に出展しました。この展示会は、車いすをはじめとする、子ども向けのサポート製品を多くの企業・団体が出展する、国内最大の子ども向け福祉用具の展示販売会です。当社からは姿勢、座位を保持する木製座位保持チェア「バンビーナ」、金属フレームを採用することで、調整やメンテナンスを容易にした座位保持装置「バンビーナposi」、椅子に取り付け、姿勢の安定を促す「LAPS Kids」などを展示しました。当日は多くのお客さまにご来場いただき、「この春進学した学校で使用したい」など、購入を前提としたご相談を多く頂戴しました。さらに、今後の開発の課題となる貴重なご意見を頂戴することができました。成長過程にあるお子さまは、選ぶ福祉用具によって可能性を大きく伸ばすことができると考えられます。タカノといたしましても、お子さまの「できる」に少しでも貢献できるよう、また、より快適な生活をご提供できるようサービス向上に努めてまいります。





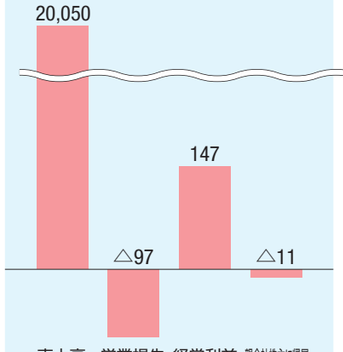
© S.Ent. 2022

連結決算概要（要旨）

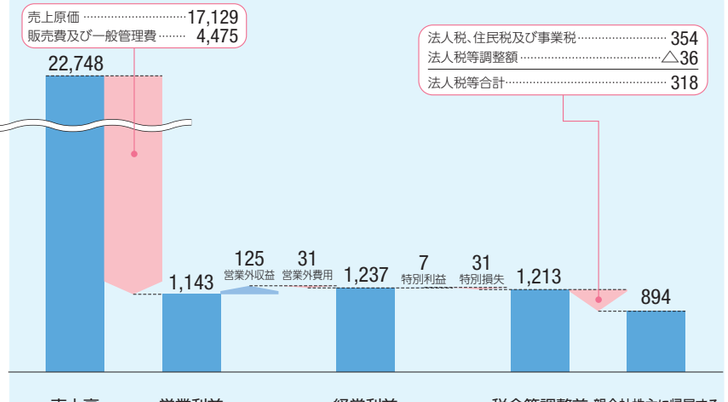
連結損益計算書の概要

（単位：百万円）

前　期
（2020年4月1日から2021年3月31日まで）



当　期
（2021年4月1日から2022年3月31日まで）

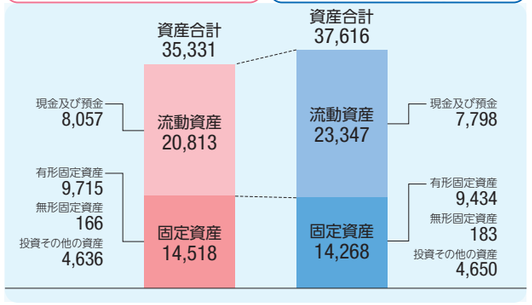


連結貸借対照表の概要

（単位：百万円）

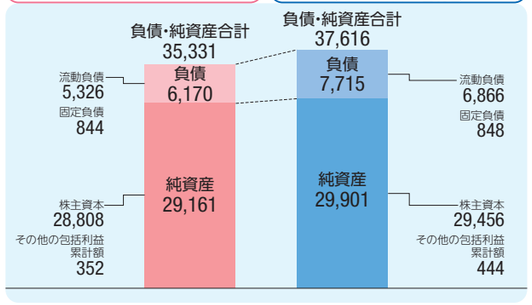
前期末
（2021年3月31日現在）

当期末
（2022年3月31日現在）



前期末
（2021年3月31日現在）

当期末
（2022年3月31日現在）



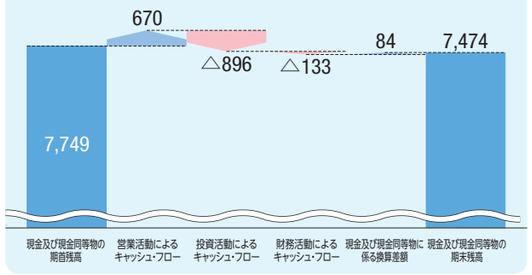


© S.Ent. 2022

連結キャッシュ・フロー計算書の概要

（単位：百万円）

当　期
（2021年4月1日から2022年3月31日まで）



Point　連結キャッシュ・フロー計算書

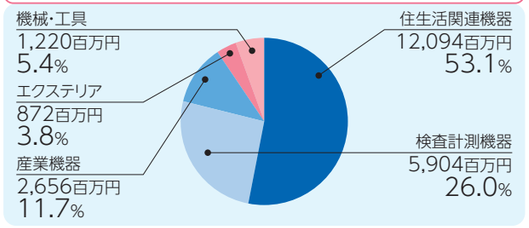
営業活動により得られた資金は、前連結会計年度と比較して855百万円減少し、670百万円となりました。これは主に、売上債権の増加額1,429百万円、棚卸資産の増加額1,138百万円、契約負債の減少額185百万円等により資金が減少した一方、税金等調整前当期純利益1,213百万円、減価償却費915百万円、賞与引当金の増加額167百万円、仕入債務の増加額1,168百万円等により資金が増加したことによるものであります。
投資活動により支出した資金は、前連結会計年度と比較して164百万円増加し、896百万円となりました。これは主に、定期預金の預入と払戻にかかる収支215百万円、有形固定資産の取得による支出606百万円等によるものであります。
財務活動により支出した資金は、前連結会計年度と比較して261百万円減少し、133百万円となりました。これは主に、親会社による配当金の支払額121百万円等によるものであります。

セグメント別概況

（単位：百万円）

	売上高（外部顧客への売上高）			セグメント損益		
	前期	当期	増減率	前期	当期	増減率
住生活関連機器	9,285	12,094	30.2%	△228	446	－%
検査計測機器	6,916	5,904	△14.6%	79	201	153.8%
産業機器	1,686	2,656	57.5%	36	473	1,199.7%
エクステリア	827	872	5.4%	△38	△49	－%
機械・工具	1,332	1,220	△8.4%	58	85	45.3%
セグメント間取引消去	－	－	－%	△5	△13	－%
合計	20,050	22,748	13.5%	△97	1,143	－%

セグメント別売上高構成比




© S.Ent. 2022

会社概要

会社概要（2022年3月31日現在）

商号	タカノ株式会社
本社所在地	長野県上伊那郡宮田村137
創業	1941年7月1日
設立	1953年7月18日
資本金	20億1,590万円
事業内容	事務用椅子、その他椅子等のオフィス家具、ばね、エクステリア製品、エレクトロニクス関連製品、医療・健康福祉機器の製造ならびに販売
従業員数	566名
上場取引所	東京証券取引所 スタンダード市場（発行日現在）

グループ会社（2022年3月31日現在）

●株式会社ニッコー
住所　長野県上伊那郡宮田村
事業内容　工具・器具機械等の仕入販売
資本金　90百万円

●タカノ機械株式会社
住所　長野県上伊那郡宮田村
事業内容　省力化機械の製造販売
資本金　50百万円

●台湾鷹野股份有限公司
住所　中華民国台中市
事業内容　検査装置の保守サービス
資本金　20百万台湾元

●上海鷹野商貿有限公司
住所　中華人民共和国上海市
事業内容　オフィス椅子等の仕入販売
資本金　50万米ドル

●香港鷹野国際有限公司
住所　中華人民共和国 香港特別行政区
事業内容　エレクトロニクス製品および製品にかかる部品等の仕入・販売（輸出入）
資本金　1百万香港ドル

●Takano of America Inc.
住所　米国カリフォルニア州 トーランス市
事業内容　エレクトロニクス製品の仕入・販売
資本金　80万米ドル

※上記グループ会社はすべて出資比率100%の子会社です。

役員（2022年6月28日現在）

代表取締役社長	鷹野　準
専務取締役	鷹野　力
常務取締役	大原明夫
取締役	久留島馨
取締役	玉木昭男
取締役	下島久志
取締役	植田康弘
取締役	鷹野雅央
取締役（非常勤）	黒田康裕
取締役（非常勤）	杉山徹
社外取締役	鈴木浩
取締役（常勤監査等委員）	髙嶋厚
社外取締役（監査等委員）	長谷川洋二
社外取締役（監査等委員）	小松哲夫

ホームページのご紹介

タカノでは、株主・投資家のみなさまへのタイムリーな情報提供および双方向の情報交換を目的に、ホームページに会社情報を掲載しております。ぜひご覧ください。



http://www.takano-net.co.jp

インフォメーション

株主優待制度のご案内

2021年度の株主優待は、2021年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、1,000株以上所有の株主のみなさまへは以下の6点の商品のなかから1点お選びいただき、12月に贈呈いたしました。
100株以上1,000株未満所有の株主のみなさまへは、当社で販売している「高嶺ルビーはちみつラスクセット」を同時期に贈呈いたしました。
2022年度の優待品も、みなさまにお喜びいただけるよう厳選の品をお送りする予定ですので、ご期待ください。

※2022年度の株主優待品は、2022年9月30日現在の株主のみなさまを対象として、本年12月に贈呈させていただく予定です。


A.ワイン・ウイスキーのセット


B.信州りんご


C.高嶺ルビーはちみつ


D.信州の長いも


E.信州富士見高原ハム・ソーセージ


F.信州そば

株式の状況（2022年3月31日現在）


© S.Ent. 2022

●株式・株主の総数

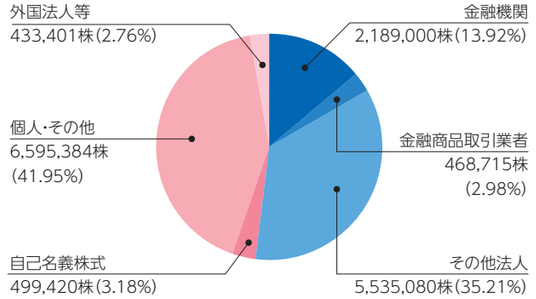
発行可能株式総数	50,000,000株
発行済株式総数	15,721,000株
株主数	7,032名

●大株主

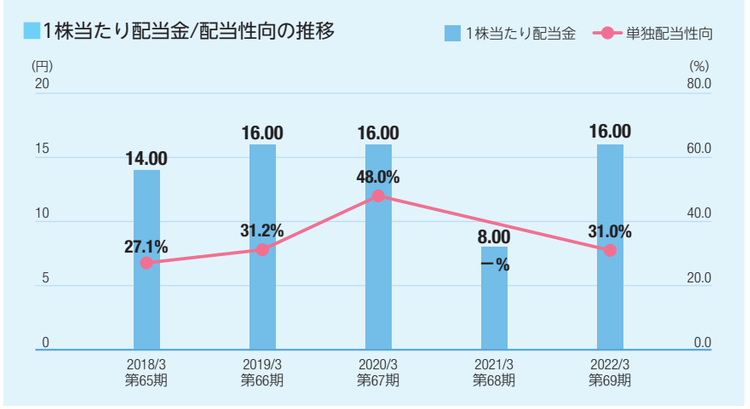
株主名	持株数	持株比率
コクヨ株式会社	2,151,500株	14.13%
日本発条株式会社	2,151,500株	14.13%
堀井　朝運	1,487,400株	9.77%
株式会社鷹山	1,135,000株	7.45%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	654,800株	4.30%
水元　公仁	408,700株	2.68%
SMBC日興証券株式会社	397,290株	2.61%
一般財団法人鷹野学術振興財団	380,000株	2.49%
タカノ取引先持株会	311,500株	2.04%
タカノ従業員持株会	297,940株	1.95%

（注）1. 当社は、自己株式を499,420株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。
2. 持株比率は自己株式（499,420株）を控除して計算しております。
3. 日本発条株式会社の持株数には、同社が退職給付信託の信託財産として拠出している当社株式1,000千株（持株比率6.56%）を含んでおります（株主名簿上の名義は「みずほ信託銀行株式会社退職給付信託日本発条口再信託受託者株式会社日本カストディ銀行」であります。）。

●所有者別株式の分布状況



●配当金および株価等のデータ



株価
725円

単元株式数
100株

必要最低投資金額
72,500円

上記は2022年3月31日の終値を基に算定しております。